

平成18年度予算案の主な事業、
新年度に取り組む主な施策等

次に、平成18年度予算案の主な事業並びに新年度に予定されている主な施策等について説明申し上げます。平成18年度予算編成方針では、緊急行動計画における施策の選択と集中を強調し、「次世代育成」「健康」「安全」などを重点事業として位置付けました。これらを具体化するために、各種補助金や交付金の確保に努め、市民協働など創意工夫をしながら、事業の新規実施、拡充に努めております。以下、予算編成方針の柱立てを中心に説明を申し上げます。

子育て一番のまちを目指して

まず次世代育成への支援ですが、少子化の進行が、このところ上昇に転じたとはいえ、狛江市の平成16年合計特殊出生率は1・03と多摩地域でも低く、その対応が求められています。また、子どもたちを取り巻く社会環境はますます深刻化しており、市民ぐるみの取り組みを強めなければなりません。本予算案では、子どもたちが周囲に支えられながら成長していることを実感してもらえるよう、東京都市長会の「多摩・島しょ子ども体験塾」事業助成金を活用し、子ども感動体験事業を構築いたしました。ふるさと自然体験事業は、ふるさと友好都市新潟県川口町に受け入れていただき、子どもたちに2泊3日の宿泊体験を提供いたします。多摩川ふれあい事業は、「狛江水辺の楽

校」運営協議会の協力で、山梨県小菅村の源流体験教室への参加を広げる多摩川源流体験ツアーと魚の生態を学ぶ産卵床プロジェクトを、作付けから収穫まで行う農業体験事業ではマインズ農協や農業者が、科学体験事業は教員等で構成する実行委員会、音楽ふれあい事業は児童館において社会福祉法人雲柱社と、広範な市民、団体、交流自治体の協力で実施いたします。

私立狛江保育園の園舎改築を機に、建築設計費の助成を通じて一時保育の実施をお願いしてまいります。読書を通じて、子どもたちの思考力、感性を育てようと、先の「子ども体験塾」事業助成をここでも活用し、中央図書館での親子読書推進事業、第三小学校やさきやま文庫の活性化を目指し地域交流図書室読書推進事業を実施するとともに、小中学校の図書整備費を増額いたしました。

児童の放課後対策の多様化と適正配置を進め、居場所のない子どもたちをつくらないよう、新年度から和泉児童館では小学生クラブ、緑野小学校では放課後クラブを取り込んだ新子どもフリープレイを開設いたします。狛江市には平成18年度、学童保育所が小学校ごとに6カ所、市内南北に1カ所ずつの小学生クラブ、2カ所の放課後クラブ、新子どもフリープレイを含む5カ所の子どもフリープレイがそろい、多様な放課後の居場所づくりが行われています。

学校環境の整備では、平成17年度開校した緑野小学校の新校舎が夏の竣工を目指して工事中

ですが、ここには屋上緑化、雨水利用、オープン教室、学年ごとの多目的ルームなど、新しい試みが数多く取り込まれています。その他、第二中学校階段天井のアスベスト対策や第四中学校家庭科室への空調機設置、各小学校コンピュータ室のパソコンを2人1台から1人1台配備を実現してまいります。不登校児童・生徒への相談、指導を充実するため、学校派遣心理相談員の派遣日数増や適応指導員の増員をいたします。

現在、教育委員会は特別支援教育への先駆的な取り組みを進めています。新年度は特別支援教育ネットワーク協議会を立ち上げ、和泉小学校に情緒障がい児通級学級を新たに開設します。これで2校に1校の割合で通級学級が設置されることとなりますが、今後とも特別支援教育の体制づくりを推進いたします。

健康で優しいまちづくり

次に、健康で優しいまちづくりについて申し上げます。高齢化が進行し、2、3年後には人口の20%を高齢世代が占めるようになります。活気ある高齢社会を築くために、健康施策を拡充してまいります。受診待機者が増大の一途をたどってきた基本健康診査の受診枠は、平成17年度に続き医師会の協力を得て1,000名拡大いたします。これで受診率は国が目標とする50%にほぼ達することになります。また新たに、西河原公園に運動遊具を設置し介護予防のための運動教室を実施します。ここで

の参加者を市民リーダーとして育

成し、運動教室を広げていきます。介護保険が新年度から介護予防に力点が移されますが、その一環として虚弱高齢者を対象にした栄養改善事業や口腔機能の向上事業、一般高齢者を対象とした栄養改善教室、健康セミナーなどを実施してまいります。

昨年10月から乳幼児医療費助成の所得制限を就学前まで撤廃いたしました。新年度から通年化するとともに、利用者の増加をみている平日深夜間の小児初期救急診療事業を、新たに水曜日も開設することになります。

いま国の「構造改革」のもと、一握りの勝ち組とその他大勢の負け組に分かれていく格差社会の拡大が、大きな問題になっています。一自治体での対応には限りがありますが、社会的に弱い立場にある市民を守ることが市政運営の根幹と位置付け、ぎりぎりの努力を重ねていきます。その一環として、介護保険料のランクを5段階から7段階に変更するとともに、保険料の減免基準を拡大しています。障害者自立支援法が4月から施行されますが、負担の定率化に伴い、国や都の制度に加え、市独自の利用者負担軽減措置を導入いたします。高齢者給食配食サービスの一部が介護保険事業に取り込まれ、施設給食との公平性から、負担額を400円から500円に引き上げますが、低所得の方には従来料金に据え置くことといたしました。

安全で連帯感のある狛江づくり

安全なまちづくりは、現在市民のもっとも強い要望の一つで

あり、防災と子どもの安全を重点に取り組んでまいります。

新年度、多摩川・野川の洪水ハザードマップを作成し、今後の地域防災計画の見直しに取り込むとともに、仮設トイレ等防災備蓄の回復・充実を図り、その際備蓄体制を再構築してまいります。災害時一時避難所となる前原公園北側の出入口を確保するため道路を新設し、地域住民の安全を図ります。その他、木造住宅耐震診断助成制度を創設するとともに、災害時、市災害対策本部の設置場所となる市役所庁舎についても耐震診断を実施いたします。緑野小学校体育館の耐震・防音工事、第五小学校体育館、和泉小学校校舎、第二中学校校舎等の耐震診断を行います。また、緑野小学校新校舎の竣工・移転に伴い、児童の通学路となる市道32号線歩道整備を行い、歩行者の安全を確保します。

防犯に関しては、今年から動き始めた安心安全情報共有システムを本格稼働させ、同じく地域防犯パトロール事業を拡充し、市民ぐるみで地域の安全を守る仕組みを強めます。また、都の補助制度を活用して小学校に防犯カメラを設置するとともに、より効果的なものとするためセンサーも併設いたします。国民保護法では、新年度中の国民保護計画策定を市町村に義務付けていますが、狛江の実情に即した住民の安全を守る計画として、その策定に入っております。

快適、便利で活気のあるまちづくり

次に、住みよい地域社会の構

築を目指した取り組みです。昨年10月こみの有料化を実施しましたが、1月までの4か月間の排出量が21%減少しました。実施直後ですので、1年を通した数字はもう少し低下すると見込まれますが、市民の皆様のご協力にあらためて感謝申し上げます。この有料化に伴い、和泉多摩川周辺の不法投棄防止パトロールの実施、利用者の利便等を図るため粗大ごみ収集のシール方式への転換を予定しており、また、セントラルハイツの生ごみ処理機更新もあわせて行っております。

商工業振興の要となる市商工会に、昨年度こみ指定袋の販売を移管することとし、会員拡大による財政基盤安定化を図っております。これまで検討してきた商店街ポータルサイトの立ち上げ、農業振興計画策定は、ともに平成18年度を予定しております。

道路に関しては、都道狛江通りの整備進捗に応じて、慈恵医大第三病院東側の市道34号線整備に着手するとともに、交通安全上懸案だった市道11号線の都道世田谷通り・一の橋交差点部の整備にも入っております。

市民文化の振興と狛江らしさづくり

最後に、「三位一体の改革」への対応や緊急行動計画の実施など、行財政改革を進めています。が、こうした厳しさの中にも夢や希望のあるまちづくり、市民協働の推進によって、元氣な狛

江を創っていきたくと考えます。一昨年、「音楽の街」狛江づくりを提案しましたが、その後「川口町被災者救援 クリスマス・チャリティ・コンサート」、「狛江・国際交流民族音楽フェスタ」、「こまえ平和フェスタ2005」での市民公募による平和フェスタ合唱団結成、市民まつり中央舞台での市音楽連盟によるプロデュースなど、市民の多彩な取り組みが広がり、音楽の街への機運が醸成されてきました。第四中学校合唱部の全国学校音楽コンクール金賞、第二中学校吹奏楽部、都立狛江高校等曲部のそれぞれ都大会金賞と、子どもたちの活躍も後押しをしてくれています。

これらを受け、いよいよ新年度に「音楽の街」狛江構想の策定に入ります。広範な音楽関係者、市民の声を反映するため、積極的な参加を呼びかけるとともに、「音楽の街」狛江を目指すシンポジウムも開催する所存です。

市民との協働によるまちづくりをさらに推進するため、新しい風」補助金など事業提案型補助金の充実を図るとともに、地域住民を学校ボランティアとして人材活用を図るなど、開かれた特色ある学校づくりを進めるために地域交流推進事業を創設いたします。

なお、新年度から指定管理者制度に基づき、狛江市民ホールと市立古民家園を指定管理者へ委ねることになりましたが、新たな発想による事業展開、利用促進を図り、より喜ばれる施設となるよう、努力してまいります。

狛江市アクションプラン等の策定

以上が、新年度の主な新規・拡充事業等ですが、市民要望はまだまだ山積しています。しかし、国からの地方財政削減とあわせ、税収等の大幅な増も見込めないことから、現行事業の継続さえ厳しい状況にあります。

こうした社会経済情勢の変化に的確かつ柔軟に対処し、限られた財源を有効活用するため、社会的弱者への配慮を行うつつ事業を見直し、必要性、効率性、緊急性の高い事業へ重点化するなど、「選択」と「集中」をさらに促進してまいります。

そのために、「狛江市アクションプラン」を策定し、中期的な予算管理への転換を目指します。

このプランは、第4次基本計画の実施計画と緊急行動計画を含めた行財政改革推進計画をまとめ、5年間の行財政の見通しを明らかにするものです。現財政状況下でも何に取り組んでいくのかを示すとともに、財政基盤を確立すればどのような事業展開が可能になるのか、市民と共有するための計画でもあります。

まちづくり総合プランにおいても、教育委員会の第一中学校と第四中学校の統合に関する考えがまとめられたのを受け、現在改定作業に入っております。ここでは中学校給食の実施や中学校の適正配置・適正規模化の推進など、重要課題に関する時期や方向性も打ち出してまいります。

今後目指すべき方向

地方財政にとつて、暴風雨とも例えられるこの2年間でしたが、議会のご理解はもちろんですが、市民の皆様との協力と職員が一丸になった取り組みによって、これを乗り越えていく展望が開かれつつあると言えます。

これを確かなものにしていくために、残る2年間の緊急行動計画を達成させるとともに、その先、自立した都市として市民福祉の向上と魅力あるまちづくりに邁進してまいります。加えてその過程で市民参加、市民協働をさらに豊かなものとし、市民が主人公の市政・発展に向けて、一層の努力を重ねていく所存です。

市議会の皆様には、直面する危機を乗り越えるために、新年度の市政運営に格別のお力添えをいただけますようお願い申し上げます。私の所信表明といたします。



(問い合わせ) 議会事務局

市民農園使用者再募集および講演会

■利用使用者再募集

〔募集農園〕いわどみなみ第2農園

〔場所〕岩戸南四丁目27番先

〔募集区画数〕一般世帯5区画

〔区画面積〕12・5㎡

〔年間管理料〕6,250円

〔使用期間〕4月1日から平成20年3月31日までの2年間。ただし、2年間に限り更新可能

〔募集条件〕市内に住居登録または外国人登録をしている方で構成する世帯 申請者が世帯主であること 利用者は世帯主本人およびその世帯の構成員に限る 1世帯1区画 現在、他の市民農園を使用していない世帯 利用期間内に継続して農園の維持・管理のできる世帯

〔申込方法〕3月17日(金)まで(消印有効)に、往復はがきで、世帯主の住所・氏名・電話番号を記入のうえ、産業生活課へ(1世帯1枚に限る)。
現在他園で空き待ちの登録をしている世帯が今回申し込みをすると、その空き待ちの資格は無効になります。
〔抽選〕23日(木)午前9時から503会議室で公開抽選。申込者には、後日結果を通知します。当選した方は、25日(土)に行う市民農園貸付手続・説明会に参加していただきます。

■講演会

市民農園を利用する皆さんの耕作上の知識・技術の向上を目的として講演会を開催します。



〔申し込み・問い合わせ〕産業生活課へ。

平成 18 年度 市 職 員 募 集

平成18年度中に職員に欠員が生じたとき補充するための採用候補者を募集します。

〔職種・受験資格〕別表のとおり。国籍は問いませんが、地方公務員法第16条(欠格条項)に該当する方は受験できません。

〔募集人員〕若干名

〔申込書配布・申込期間〕3月15日(水)から31日(金)までの午前8時30分から午後5時までの間に職員課で配布し、申し込みを受け付けます(土・日曜日、祝日を除く)。

申込書は市ホームページから

もダウンロードすることができ

ます。

〔提出書類〕受験申込書 最終学歴の卒業証明書と成績証明書

電子申請(市ホームページからご利用ください)による申し込みもできます。

この場合、24日(金)午後5時までが申請期限となり、写真、卒業証明書、成績証明書を申込期間中に提出していただきます。

〔第一次試験日〕4月23日(日)



職 種	学 歴 分 区	年 齢 要 件	受 験 資 格
一般技術 (建築技術)	大学	昭和51年4月2日以降生まれの方	各々の学校を卒業した方
	短大	昭和53年4月2日以降生まれの方	
	高校	昭和55年4月2日以降生まれの方	

活字印刷による出題に対応できる方

〔問い合わせ〕職員課



市制施行の年・昭和45年人口約5万7千人、田畑は日を追うごとに潰されて宅地に変わっていった。そのため値上がりが続く地価の抑制を兼ねて、この年から地価公示制度が始まった。狛江駅から400m離れた和泉の宅地で1㎡5万円、和泉多摩川駅から1・6km離れた駒井で1㎡3万9千円だった。この年は丙午(ひのうま)の年前年に生まれ

た子どもが幼稚園の年中組に入る年でもあった。それに町内に3つの団地ができて間もないこともあって、幼稚園は狭き門、入園児を持つ保護者は、早朝から行列して入園受付の開始時間待った。

学校の教室不足も深刻だった。小中学校の新設が3校続いたあとだというのに、第六小学校の用地買収と、第四小学校、第五小学校、第二中学校、第一小学校の増改築があった。

だから町役場は、もうすぐ市役所になるといつのに、昭和25年に建てた木造庁舎を囲んでプレハブ庁舎がいくつも建っていた。学校建築に追われて町役場まで手が回らなかつたのである。町の事業として学童保育所を始めたのもこの年である。そこには子どもの急増期としての活気があった。

都立高校への進学は不便だった。狛江町が多摩学区だったため神代高校以外はみな遠く、

やっと認められていた25群も、この年の入学試験から2つに分かれたため、26群の千歳丘高校と明正高校しか受けられなくなった。そこで狛江にも高校をという運動が急に高まり、年末には狛江高校をバラ園のあった現在地に作るという方向がほぼ定まった。

多摩川河川敷にテニスコート4面とブランコ、滑り台、シーソーなど児童遊園施設ができたのもこの年の4月である。続いて少年用と成人用の野球場が2面できたが、昭和49年の水害で流されて今は野球場しかない。

狛江駅南口広場が開通式を行ったのは一月だった。そのころ多摩川水道橋は渋滞が激しかったので、翌年には渋谷・向ヶ丘遊園間のバスが狛江駅南口広場で折り返すようになった。

狛江通りの踏切も開かずの踏切だったから、車は世田谷通りまで続き、ラジオの交通情報ではいつも狛江三叉路の名が報じられていた。一方反対車線でも市役所前を目前にバスから降りられない乗客がいらいらしていた。

小田急線の急行も朝の上り以外は成城学園前を止まらなかつたから、夕方など新宿から狛江まで来るのに40分も50分もかかった。だから急行に乗って登戸まで行って引き返す人がいたとみえ、狛江駅の改札口には、「登戸まで行って戻ってきた場合は往復料金をいただきます」という内容の張り紙があつた。

井 上 孝

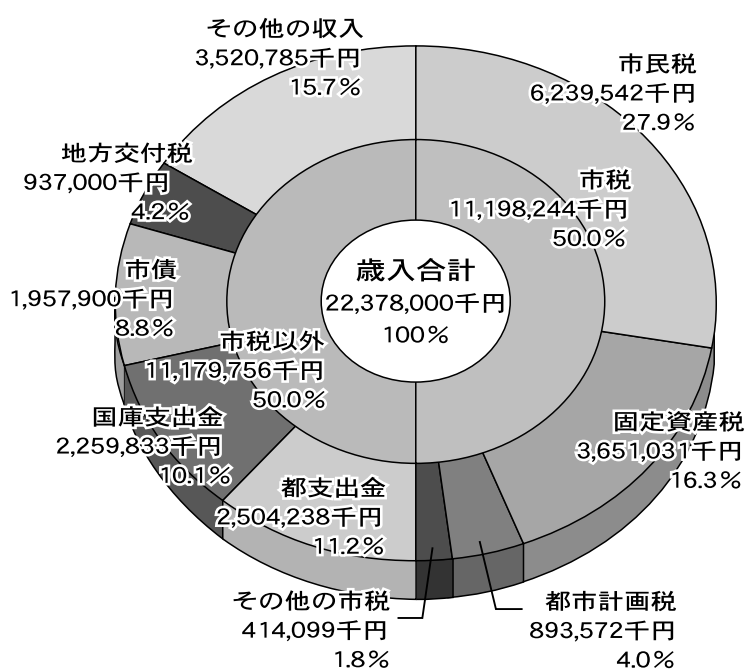
(狛江市文化財専門委員)

平成18年度当初予算案がまとまりました

～緊急行動計画中間年度に向けた選択と集中～

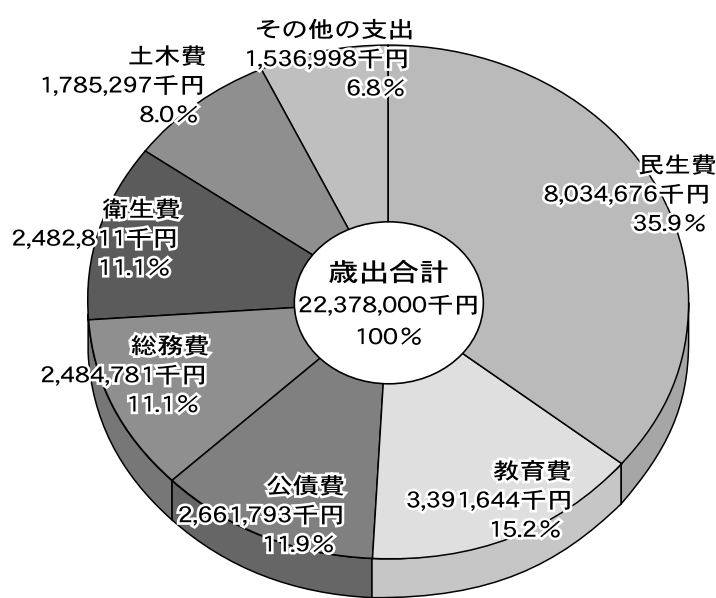
歳

入

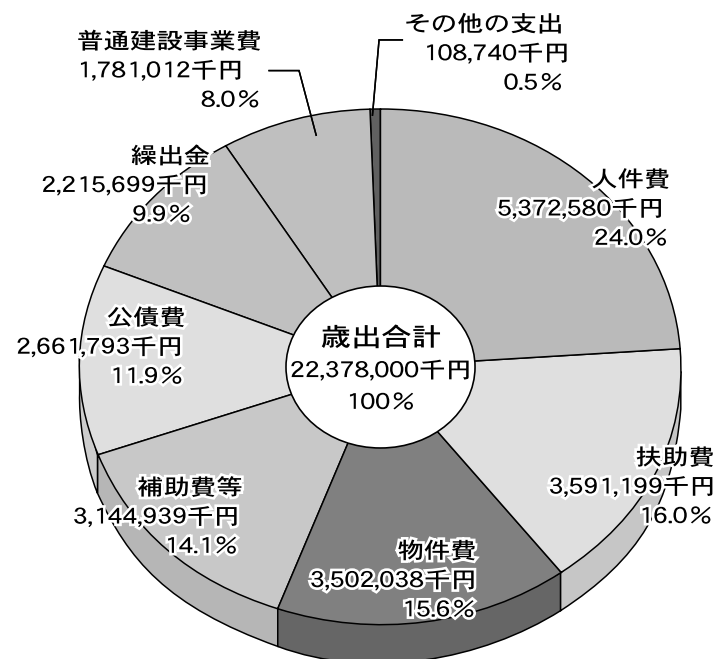


歳

出



歳 出 (性 質 別)



平成 18 年度当初予算案がまとまりました。予算規模は、一般会計の予算額で見ると、223 億 7,800 万円で前年度比 11 億 200 万円（5.2%）の増額となっています。

また、6 つの特別会計を含めた予算総額は、402 億 1,628 万 7 千円で、前年比 7 億 5,934 万円（1.9%）の増額となっています。

平成 18 年度の予算につきましては、緊急行動計画の中間年度にあたり、緊縮財政を基調としながらも「選択と集中」をより明確に位置付けています。住民税のフラット化による税源移譲の影響など厳しい財政状況のなか、平成 17 年度に引き続き退職者不補充や各事業の見直しなどの対策を講じています。

この予算案は、現在開会中の平成 18 年狛江市議会第 1 回定例会で審議されています。

〔問い合わせ〕企画経営室

予算編成方針

■「収支均衡型財政への転換」を前倒し達成することを目指す

緊急行動計画は、3 年間の目標で収支均衡型財政への転換を目指しているが、平成 17 年度の到達点を踏まえ、18 年度での達成に向けて全力を尽くしていく。各部課におかれては、経費の節減や新たな財源確保のために、一層の事業の精査、補助金等の確保などに努力するものとする。また、税等の収納体制をさらに強化していく。

なお、緊急行動計画の推進にあたっては、市民や関係者への説明に充分意を払い、その理解と協力が得られるよう努める。

■政策展開の「選択と集中」をより明確にしていく

新年度においても緊縮財政を基調として、新たな事業は抑制、延伸することを原則とするが、その中でも「政策課題」として示した「次世代育成」「健康」「安全」等を重点政策と位置づけ、さらに拡充に向けた努力を重ねていく。また各所管においては、長期的な視点も含め、鋭意必要な施策を選択し、その構築を図られたい。

〔5 つの政策課題〕

- 子育て一番のまち—狛江づくり
- 健康なまちづくり
- 安全で連帯感のある狛江づくり
- 便利で活気のあるまちづくり
- 市民文化の振興と狛江らしさづくり

■「構造改革」、社会保障制度の見直しが進む中、社会的に弱い立場の人びとを守る

介護保険制度の見直しなどが行われ、さらには障害者自立支援法制定や高齢者医療保険制度の導入等の動きが強まっている。また狛江市においても、「三位一体の改革」に対応するための第 3 次行財政改革推進計画の実施によって、市事業の見直しを余儀なくされており、こうした影響によって、低所得者、高齢者、障がい者など社会的に弱い立場の人々に、負担増や必要なサービスの縮減が集中し、生活不安に追込むことのないよう、細心の注意を払い、行政として必要な手立てを可能な限り講じるものとする。

■市民との協働を推進し、市民の活力を生かしながら、元気な狛江を築く

これまで、市民参加と協働の枠組みづくりが進められてきたが、今後、その実践において習熟と徹底を図り、一層の発展を目指す。特に、市民と行政との共催事業を重視し、現行市事業の協働化、市民活動との協働化を推進する。とりわけ、「狛江らしさ」づくりにつながる市民活動を重視するとともに、市としても先導的な事業を組み立て、市民との連携を図るなかで、魅力ある都市としての発展に努める。

なお、市政情報の公開・提供は、市民参加・協働の土台であることを認識し、常にその制度の前進に力を尽くさなければならない。

平成18年度会計別予算規模

■平成 18 年度各会計予算の状況

（単位：千円）

区 分	年 度	平成 18 年度	平成 17 年度	比較増減	
				額	率
一 般 会 計		22,378,000	21,276,000	1,102,000	5.2%
特 別 会 計		17,838,287	18,180,947	342,660	1.9%
国民健康保険		6,913,933	6,823,129	90,804	1.3%
老人保健医療		5,056,944	5,128,363	71,419	1.4%
介護保険		3,375,776	3,163,603	212,173	6.7%
公共下水道		1,811,240	2,254,231	442,991	19.7%
駐車場事業		65,394	71,021	5,627	7.9%
受託水道事業		615,000	740,600	125,600	17.0%
合 計		40,216,287	39,456,947	759,340	1.9%

5つの政策課題へ対応する新たな取り組み

※平成 17 年度予算額および増減額の（ ）は事業組み替え前の参考数値です。
（単位：千円）

事業名 担当課	18年度 予算額	17年度 予算額	増減額	事業概要
子育て一番のまちー狛江づくり				
放課後クラブ 児童福祉課 拡充	15,103	6,254	8,849	子どもフリースレィに学童的機能 を包括して、新たな放課後児童対策 事業として緑野小学校でも実施しま す。
児童館 指定管理業務費 児童福祉課 拡充	111,073	(87,055)	(24,018)	平成 18 年度から指定管理者制度 に移行し、岩戸児童センターで実施 している小学生クラブを和泉児童館 でも実施します。
保育所等児童運営費 児童福祉課 拡充	508,319	503,273	5,046	市立外保育園等の運営費を補助す るとともに、民間保育所整備費への 補助を実施します。
児童・育成手当 児童福祉課 拡充	465,881	294,174	171,707	国の制度に基づき、対象年齢の拡 大および所得制限を緩和します。
統廃合関係費 学校教育課 拡充	1,233,693	876,002	357,691	緑野小学校の 9 月新校移転に向け、 新築工事の推進を図るとともに、備 品整備等を進めます。
子どもフリースレィ 社会教育課 拡充	11,766	(10,983)	(783)	放課後等に、市立小学校施設を開 放し、安全な遊び場を提供するとと もに、集団での遊びを通じて、児童 の健全育成を図ります。
子ども感動体験事業 新規	4,650	0	4,650	ふるさと自然体験事業（市民協働 課） 子ども音楽ふれあい事業（児童福 祉課） 子ども多摩川ふれあい事業（環境 改善課） 子ども農業体験事業(産業生活課) 子ども科学体験事業(社会教育課) 地域交流図書室やさきやま文庫読 書推進事業（社会教育課） 親子読書推進事業（中央図書館）
小中学校教育の充実 学校教育課 指導室 拡充	116,863	108,880	7,983	学習環境の整備と特別支援教育の 推進、教育相談の充実を図ります。 就学相談 特別支援教育ネット ワーク連絡協議会を立ち上げます。 不登校対策支援 学校派遣心理相 談員の派遣日数増と適応指導員を増 員します。 特別支援教育事業 国際理解教育促進 外国語英語指 導員の小学校への派遣日数を増やし ます。 情報教育推進事業 各学校コン ピュータ室へのパソコン 40 台配備 と情報器材を充実します。 図書整備 情緒障がい学級 和泉小学校に情 緒障がい学級 通級 を新設します。

健康なまちづくり				
乳幼児医療費助成 保険年金課 拡充	175,794	151,396	24,398	乳幼児に係る医療費の一部を助成 することで、乳幼児の保健の向上と 健やかな育成を図ります。
地域支援事業 基盤整備 高齢福祉課 新規	6,285	0	6,285	身近な地域で介護予防のため高齢 者の体力づくりの基盤整備を行うと ともに、地域で活動できる指導者を 養成します。一般高齢者に対する介 護予防施策を充実させるため、西河 原公園に運動遊具を設置します。
健康診査 健康課 拡充	175,742	163,126	12,616	検診および当該検診に基づく指導 を行います。65 歳以上を対象に基本 チェックリストを導入するとともに、基 本健康診査の受診枠を 1,000 人拡大 し、7,500 人とします。
小児初期救急 平日夜間診療事業 健康課 拡充	2,478	2,292	186	平成 18 年度から水曜夜間を加え ることにより、平日夜間すべての曜 日で実施します。
介護予防 特定高齢者施策 (介護保険特別会計) 高齢福祉課 新規	12,802	0	12,802	虚弱高齢者を対象に、要介護状態 になることを予防する事業を展開しま す。 運動器の機能向上事業 栄養改善事業 口腔機能の向上事業 配食サービス事業 介護予防健診
介護予防 一般高齢者施策 (介護保険特別会計) 高齢福祉課 新規	18,775	0	18,775	一般高齢者を対象に、生活機能低 下を予防する事業を展開します。 栄養改善教室 運動遊具による教室 健康セミナー 食会事業 介護予防教室

安全で連帯感のある狛江づくり				
国民保護計画策定 総務防災課 新規	5,125	0	5,125	「国民保護法」を受けて、避難およ び救援など市民の保護のための措置 を的確かつ迅速に実施するため、狛 江市国民保護計画を策定します。計 画策定に向け、国民保護協議会を設 置し審議を進めます。
災害対策関係費 総務防災課 拡充	26,680	17,577	9,103	災害対策用資機材の備蓄と維持管 理、訓練等を行い災害時の対応能力の 向上を図るとともに、防災意識の普及 活動等を実施します。また、洪水ハザ ードマップを作成(全戸配布)します。

事業名 担当課	18年度 予算額	17年度 予算額	増減額	事業概要
庁舎維持管理費 総務防災課 拡充	100,378	106,096	5,718	防災拠点としての市庁舎の耐震診 断を実施します。
生活安全対策 関係費 総務防災課 拡充	2,708	2,000	708	生活安全対策協議会を中心に、犯 罪防止への実質的な地域的な取り組 みを実施します。犯罪の抑止・災害の 予防のための地域安心安全情報共有 システムの安定的運営を図ります。
木造住宅耐震 診断助成 産業生活課 新規	1,000	0	1,000	住宅の耐震化率を向上させるため、 昭和 56 年以前に建築した新耐震基 準以前の木造住宅の耐震診断に対す る助成制度を創設し、1 件あたり 5 万 円を限度に助成します。
市道 32 号線 歩道整備事業 整備課 新規	281,180	0	281,180	緑野小新校開校に伴い、歩車道を 整備し、児童の安全な通学路を確保 するとともに、一般歩行者の安全と 利便性を向上させます。
前原公園北側出入口 道路整備事業 整備課 新規	64,838	0	64,838	緑野小新校開校に伴う通学路や地 域住民の避難経路を確保し、公園利 用者の利便性向上のため、公園北側 に連絡道路を整備します。
学校安全対策費 学校教育課 拡充	14,055	(3,113)	(10,942)	犯罪等から児童を守るため、学校 安全対策として、防犯ブザーの貸与 および小学校へ学校安全巡回員を配 置し、校舎内巡回、学校敷地内巡回、 火気使用箇所点検、不審者等通報な どを行います。また、各小学校へ防犯 カメラ等を設置します。
既存施設改修工事 学校教育課 拡充	小学校 110,986 中学校 15,386	102,000 7,220	8,986 8,166	計画的に校舎・屋内運動場の耐震 診断・整備工事等を行います。また、 特別支援教育に向けて、2 校に 1 校の 体制で通級指導学級を設置するため 和泉小学校を整備します。アスベス ト対策として、第二中学校階段天井 改修工事を行います。

便利で活気のあるまちづくり				
勤労者互助会関係費 産業生活課 拡充	3,228	1,784	1,444	事業者団体である商工会が事務局 となることで密接な情報交換ができ、 双方の会員増強につながる効果が見 込まれるため、事務局を移管します。
新・元気をさせ！ 商店街事業費補助 産業生活課 拡充	11,833	7,235	4,598	地域の商店街等が実施するイベン トおよび活性化事業に対し、必要な助 成を行います。商店街ポータルサイトを 新たな助成事業とします。
地域美化関係費 清掃課 拡充	879	218	661	多摩川流域の各自治体等との連携 のもと、多摩川河川敷の一斉清掃を 行います。不法投棄防止のために和 泉多摩川周辺のパトロールを開始し ます。
市道 34 号線 整備事業 整備課 新規	3,325	0	3,325	幹線道路の整備として、安全な歩 行者・自転車空間や、自動車の円滑な 交通を確保するため、都道整備との 調整を図りながら整備を進めます。
道路新設改良費 整備課 拡充	70,580	65,038	5,542	市道 5 号線をはじめとする 3 路線 生活道路の基盤整備 一の橋交差点
調布都市計画道路 3・4・4 号線整備費 (第一工区) 整備課 新規	125,732	0	125,732	狛江駅北口周辺の混雑を緩和し、 安全な歩行者・自転車空間や、自動 車の円滑な交通を確保するため整備 を行います。

市民文化の振興と狛江らしさづくり				
補助金評価 委員会関係費 企画経営室 新規	346	0	346	補助金検討委員会の答申を受け、 補助金の評価を実施するにあたり、 広く透明性を確保するため、第三者 機関を設置します。
音楽の街ー狛江 推進費 市民協働課 新規	244	0	244	「音楽の街」をキーワードに、市民 とともに文化・芸術活動の醸成を図りま す。骨子および構想を策定し、事業化 に向け取り組みます。音楽の街 - 狛江 の構想策定委員会を設立します。
市民公益活動 団体補助 市民協働課 拡充	2,063	1,563	500	「新しい風補助金」として、先駆的 な活動または特色ある事業を実施す る市民公益活動団体の事業に対し、 その経費の一部について補助金を交 付することにより団体の成長および 発展を図ります。
地域福祉 推進事業補助 高齢福祉課 拡充	2,500	1,500	1,000	地域福祉の増進のため、福祉団体 の育成および活動の充実を図ること を目的に、福祉団体が実施する事業 に対する補助を行います。
地域交流推進 指導室 新規	400	0	400	中学生を主な対象として実施する 職場体験活動、小学校を中心に行わ れている学校警備ボランティア活動 などさまざまな地域交流活動を支援 し、地域に根ざした教育活動の一層 の充実を図り、地域と連携した学校 づくりを進めます。
古民家園 指定管理業務費 社会教育課 拡充	7,587	(7,591)	(4)	市内の古民家等を復元保存し、利 用に供することにより、地域文化の 継承と発展に寄与します。指定管理 者制度に移行します。
市民ホール 指定管理業務費 社会教育課 拡充	100,332	(114,280)	(13,948)	市民および地域社会の文化・芸術 の向上と市民福祉の増進を図ります。 指定管理者制度に移行し、そのメリッ トが生かせるよう利用料金制をとり、 収益の拡大が図れるような効率的な 管理運営を求めます。

行政けいじばん

●市税・介護保険料の納付
および相談窓口

日曜窓口

〔日時〕3月26日(日)午前8時30分～午後5時

臨時日曜窓口

〔日時〕3月19日(日)・4月2日(日)午前9時～午後1時

夜間窓口

〔日時〕3月23日(木)・30日(木)午後8時まで

〔会場〕収納課

■税金の納付には、便利で納め忘れのない口座振替をご利用ください

〔申込方法〕預貯金通帳、印鑑(通帳用)・納税通知書を持参し金融機関・郵便局および収納課の窓口へ。

一度の手続きで、翌年度以降も自動的に更新されます。

〔問い合わせ〕収納課

●市民参加・市民協働報告書ができました

平成16年度の狛江市の市民参加と市民協働の推進状況をまとめた報告書ができました。ご希望の方には、市民協働課で配布しています。なお、市ホームページの市民参加のひろばにも掲載しています。

〔問い合わせ〕市民協働課

●災害対策用井戸の登録を募集します

災害時に井戸水を提供していただける方の登録を募集いたします。登録期限はありません。

で、ご協力をお願いします。
〔応募先・問い合わせ〕総務防災課へ。

●介護保険被保険者証が更新されます

「介護保険被保険者証」が4月1日に更新されることに伴い、新しい保険証を3月下旬に郵送します。

新しい「介護保険被保険者証」は、医療保険の保険証ではありませんので病院・診療所等での医療の治療には使えません。被保険者の方が、介護サービスを利用する時や、介護認定申請手続きをする際に必要となります。

また、すでに介護認定を受けている方にも郵送します。

なお、期限の切れた被保険者証は、保険年金課へご返却ください(郵送可)。

〔問い合わせ〕保険年金課

●テーマ型まちづくり協議会支援活動発表会

〔日時〕3月26日(日)午後2時から2時間程度
〔会場〕エコルマホール展示・多目的室
〔問い合わせ〕計画課

●外環オープンハウス・意見聴く会

国と東京都は、東京外かく環状道路(外環、関越道、東名高速)に関し、「考え方」、「計画概念図」に続き「環境への影響と保全対策」を公表しました。
〔日時〕3月19日(日) オープン

ハウス 午後1時～5時 意見を聴く会 午後3時～5時

〔会場〕谷戸橋地区センター

〔問い合わせ〕計画課または国土交通省外かく環状道路調査事務所 0120(34)1491

●都市計画道路整備事前説明会

〔日時〕3月24日(金)午後7時から

〔会場〕狛江市役所小田急線高架下分室103・104会議室

〔内容〕都道114号線(武蔵野狛江線)整備(中和泉一丁目1792番5、1853番1)

〔問い合わせ〕整備課・計画課

●国民年金保険料の臨時納付・相談窓口開設

〔日時〕3月27日(月)・28日(火)午前10時30分～午後4時

〔会場〕保険年金課前
〔問い合わせ〕府中社会保険事務所 042(361)1011

●学生納付特例制度の手続きをお忘れなく

学生納付特例制度は、学生で保険料を納めることが困難なときに、本人の前年の所得が一定基準以下の場合、申請して承認されると保険料の納付義務が猶予される制度です。

平成17年度に承認されて、平成18年度も受けようとする方は平成18年度中に再度、申請する必要があります。また、平成17年度に希望し、申請していない方は、平成18年4月中に申請すれば、平成17年4月にさかのぼって承認されますので、お早めに手続きをお願いします。

申請の際には学生証や、在学証明書が必要です。

〔問い合わせ〕府中社会保険事務所 042(361)1011

●海外留学する方でも、国民年金に加入できます

国民年金は、海外留学など海外で生活する人も、希望により任意で加入できます。

本来、海外に在住している期間は、合算対象期間として老齢基礎年金の受給資格期間には計算されますが、年金額の計算には反映されないことから、国民年金に加入することによって、将来の年金額を増額することができます。

加入手続きについては、最後に住民票のあった市区町村役場で行います。

なお、親族の方などに依頼することが困難な場合は、(社)日本国民年金協会が無料で加入の手続きを代行します。

〔問い合わせ〕府中社会保険事務所 042(361)1011 または(社)日本国民年金協会 03(265)2885

●マンション管理ガイドライン

ガイドラインは都が策定し、管理組合が行うことが望ましい維持管理の具体的な項目や水準をまとめたものです。また、新規分譲時に事業者が購入予定者に説明することが望ましい事項も盛り込まれています。

ガイドラインはホームページ(<http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/>)に掲載されているほか、都民情報ルーム等で1部460円で販売しています。

〔問い合わせ〕東京都民間住宅課 03(5320)5004

審議会等の公開

●狛江市都市計画審議会

〔日時〕3月28日(火)午前10時から

〔会場〕3階市議会第2委員会室

〔案件〕調布都市計画用途地域変更の東京都案についてほか

〔申し込み・問い合わせ〕22日(水)(消印有効)までに、往復はがきで「都市計画審議会傍聴希望」、住所・氏名・電話番号を記入のうえ、〒201-8585 狛江市役所計画課へ。

●狛江市社会教育委員の会議

〔日時〕3月16日(木)午後6時30分から

〔会場〕503会議室
〔問い合わせ〕社会教育課

●東京都都市計画審議会

〔日時〕5月24日(水)午後1時30分から

〔会場〕都庁
〔案件〕調布都市計画用途地域ほか

事前抽選により15人まで傍聴可。審議案件の照会、都ホームページ(<http://www.metro.tokyo.jp/>)で閲覧いただけます。

〔申し込み・問い合わせ〕3月31日(金)(消印有効)までに、往復はがきで、住所・氏名・電話番号を記入のうえ、〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 東京都都市計画課 03(538)3225へ。

4月から市民相談内容の一部を変更します

相談ニーズの変化などを踏まえて、内容を一部変更します。

交通事故相談

現在毎月第1・3火曜日の開催を、毎月第3火曜日に変更します。また、受付方法を事前予約制とします。

創業相談

相談窓口を廃止します。なお、ご相談は狛江市商工会 03(3489)0178で行いますのでご利用ください。

〔問い合わせ〕産業生活課

パソコン相談

定例相談を廃止し、別途単独開催を年間4～5回予定しています。

難病者相談

相談日を現在の原則毎月第1木曜日を、原則毎月第1月曜日に変更します。

カラス対策をしましょう

3月から6月まではカラスの繁殖期にあたり、多くのカラスがねぐらを離れ、公園の樹木や住宅周辺の街路樹、庭木などに巣を作ります。

例年巢の回りで人が襲われるなどの被害が多くなりますが、これは親のカラスが子育ての時期に卵やヒナを守る行動のために起こります。

カラスに襲われるなどの被害を少なくするために、身近なところに巣を作られないよう、次のことに注意してください。

●都会のカラスの巣の材料の大部分が針金式のハンガーです。カラスの巣を作りにくくするために、使い終わった針金ハンガーは必ず片付けるようにしましょう。

●空置地や駐車場などでハト

〔問い合わせ〕環境改善課

等に加えを与えることは、カラスを誘う原因にもなりますので、自粛してください。

●市では原則として、市が所有・管理する施設に巣ができて人間に危害を加える場合、巣を撤去するなどの対策を行います。民有地の場合は、その土地の所有者および管理者の責任で対応をお願いいたします。



健康と衛生

健康診査

Health

■1歳6カ月児健康診査

〔日時〕4月3日(月)受付時間は午後1時～1時30分〔会場〕あいとびあセンター〔対象〕平成16年9月生まれの幼児(持ち物)母子健康手帳・問診票・保険証・現在使っているお子さんの歯ブラシ



対象者には個別に問診票を送付します。

〔問い合わせ〕健康課 ☎(3488) 1181

■3歳児健康診査

〔日時〕4月13日(木)受付時間は午後1時～1時30分〔会場〕あいとびあセンター〔対象〕平成15年3月生まれの幼児(持ち物)母子健康手帳・問診票・目と耳のアンケート・尿・保険証



対象者には個別に問診票を送付します。

〔問い合わせ〕健康課 ☎(3488) 1181

予防接種

Health

■BCG接種

〔日時〕4月4日(火)受付時間は午前10時～10時30分〔会場〕あいとびあセンター〔対象〕生後3～6カ月未満の乳児(平成17年10月5日以降の生まれ)(持ち物)母子健康手帳・予防票 生後3カ月以上の方で予防票のない方はお問い合わせください。

〔問い合わせ〕健康課 ☎(3488) 1181

教室

Health

■ママ・パパ学級

〔会場〕あいとびあセンター(対

平成18年度健康運動セミナー(第1期)募集

生活習慣病の予防と改善を目的に、運動をしてみませんか。

〔定員〕各コース16人(平成17年度参加の方は申し込みできません)

〔抽選〕4月3日(月)午前10時から301会議室で公開抽選を行います。結果は、当日電話で連絡します。

健康診断の結果や日ごろの食生活・運動などの健康状態を伺い、体力測定を行って、個人の状態に合わせた運動計画を作成します。また、セミナー期間終了後は、フリーの時間帯をご利用になれます。エアロビクス、アクアビクスなどのクラスもありますので、楽しく運動を続けましょう。



〔会場〕あいとびあセンター

〔対象〕40歳以上の市民

■健康運動セミナー

コース	参加費	曜 日	時 間
A	1万円 (全22回)	火曜日	午前10時～正午
B		金曜日	午後1時～3時
C	5,000円 (全10回)	水曜日	午後1時～3時
D		日曜日	午前10時～正午

第2期以降の募集は、6・8・11月です。

〔申し込み・問い合わせ〕3月31日(金)までに健康課 ☎(3488) 1181へ。

〔象〕現在第1子妊娠中のお母さん・お父さん
〔申し込み・問い合わせ〕健康課 ☎(3488) 1181へ。

■育児学級

5・6カ月児の赤ちゃんの保育と離乳食(初期)について勉強します。受講中は赤ちゃんをお預かりします。

〔日時〕4月6日(木)受付時間は午後1時～1時20分(3時30分終了予定)〔会場〕あいとびあセンター(持ち物)母子健康手帳・筆記用具・バスタオル・赤ちゃんの飲み物など

〔申し込み・問い合わせ〕健康課 ☎(3488) 1181へ。

健康相談

Health

■育児相談

〔日時〕3月22日(水)午前9時30分～11時30分〔会場〕あいとびあセンター(持ち物)母子健康手帳

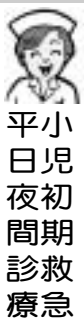
〔問い合わせ〕健康課 ☎(3488) 1181

■フロアー健康相談・育児相談
もお気軽に

〔日時〕3月17日(金)午前9時30分～11時30分〔会場〕あいとびあセンター



〔問い合わせ〕健康課 ☎(3488) 1181



小児初期救急
平日夜間診療

〔診療日〕月・火・木・金曜日(当院の休診日は除く)
〔受付時間〕午後7時～9時30分

〔対象〕15歳以下の急病のお子さん

事前に電話してから受診
。慈恵第三病院内「狛江・調布小児初期救急平日夜間診療室」
☎(3488) 2061



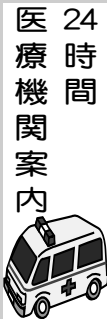
休日診療

〔診療日〕19日・21日・26日
〔受付時間〕午前9時～11時30分・午後1時～4時30分
〔会場〕あいとびあセンター

○休日応急診療所
☎(3488) 9121

○休日歯科応急診療所
☎(3488) 9171

○休日診療薬局
☎(3488) 1519



24時間
医療機関案内

○狛江消防署

☎(3480) 0119

○ひまわり

☎(5272) 0303

インターネット
http://www.himawari.net
ro.tokyo.jp/

ごみ有料化に向けて みんなで目指そうごみ減量



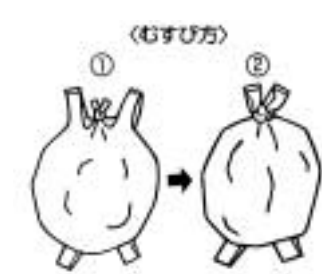
第10回 ビデオ・カセットテープは

黄色い袋(可燃ごみ)で出してください

市では、プラスチックはすべて焼却しています。
可燃ごみはそのまま燃やせますが、不燃ごみは碎いてから燃やしています。その中にテープ類が入ると機械に絡まり、故障の原因となります。そのため、必ず可燃ごみとして出してください。

■清掃課からのお願い
指定袋は口が開まるようにごみを入れてください。

可燃・不燃ごみ袋の口はテープや紐で縛らずに、左図のようにむすんでください。



袋の口を十文字にむすんでください。

〔問い合わせ〕清掃課

第8回 支援制度編

狛江市まちづくり条例には地区まちづくり準備会、地区まちづくり協議会、テーマまちづくり協議会、型まちづくり協議会、型まちづくり協議会に対する支援制度があります。内容は助成金交付、まちづくりに関する情報提供および専門家の派遣等があります。

助成金は地区まちづくり準備会および協議会については市が認めたものに交付します。テーマ型まちづくり協議会への助成金は募集期間内に申請し、狛江市まちづくり委員会によるコンペ形式の公開審査を受け、その結果を踏まえ支援決定します。情報提供は市が持っているまちづくりに関する情報で、公開できるものを提供す

これらの団体は、支援を受けた1年間の活動内容を年度末に報告するとともに、公開の場で発表をします。
〔問い合わせ〕計画課

インフォメーション

ご案内

催し

■春のつどい

〔日時・内容〕3月26日(日) 午前11時～午後3時 和服の着付けとお茶席 午後1時～3時 懇親会とアトラクション(会場) 西河原公民館(参加費)500円(中学生以上) 会員と外国の方は無料です。

〔問い合わせ〕市民協働課(国際交流協会事務局)

■生ごみ堆肥化相談会

〔日時〕3月24日(金)午前10時～11時(会場)狛江市ピン・缶リサイクルセンター

〔問い合わせ〕清掃課

■写真展「野川の自然」野鳥と植物

〔日程〕3月18日(土)～4月16日(日)

〔問い合わせ〕野川地域センター(3480)2211

セミナー

■講演会「地域の安全、子どもの安全」

〔日時〕3月25日(土)午前10時～正午(会場)エコルマホール展

募集

■中央図書館臨時職員

〔職種〕貸出業務・図書整理等〔対象〕市内在住でおおむね20～55歳(資格)司書または司書補(募集人員)若干名(勤務日時)勤務形態により週2～3日10時間程度(勤務場所)中央図書館

〔申し込み・問い合わせ〕3月24日(金)までに履歴書・資格証明書を持参のうえ、中央図書館(3488)4414へ。

スポーツ

■市民総合体育館個人開放

市民の健康維持・増進のための生涯スポーツとして、下表の

(3488)4414へ。

■会食会の新規参加者

〔期間〕4～9月(対象)65歳以上の高齢者で自力またはボランティアの協力を得ることににより会食会に参加できる方(定員)1回につき50人まで(自己負担金)1回500円

曜日	会場	定員	担当
第1火曜日	あいとびあセンター	若干名	ときの会
第2金曜日	あいとびあセンター	10人程度	エプロン会
第2金曜日	南部地域センター	10人程度	グループ・アイ

申し込みは1人につき1会場まで

〔申し込み・問い合わせ〕3月24日(金)までに高齢福祉課へ。

■非常勤講師・職員

作業療法士(職務)個別指導(勤務日時)火曜日または木曜日の午後1時～5時ほか 保育士(職務)グループ指導(勤務日時)水曜日の午前9時30分～午後5時、木・金曜日の午前9時30分～午後1時30分ほか(勤務場所)こども発達教室「ばる」(募集人員)各1人(勤務開始月)4月

〔申し込み・問い合わせ〕社会福祉協議会(3488)0294へ。

公民館

西河原公民館

(3480)3201

種目を個人開放しています。〔対象〕市内在住・在学・在勤者(使用料)大人200円、小人50円(持ち物)体育館履き時間帯による入替制です。〔問い合わせ〕体育課(3430)1141

度として6カ月前の月の1日午前9時(土・日曜日、休館日の場合は翌日)に特別申請の受け付け、調整を行います。10月に使用希望の場合は、4月3日(月)午前9時に事業計画書(予算含む)を持参のうえ、窓口前にお集まりください。■市民講座「豊かにしよう市民の活動と公民館」(日時)3月25日(土)午後2時～4時(講師)上田幸夫さん(日本体育大学教授)中央公民館(3488)4411

■市民ゼミナール「手づくりの

図書館

上和泉地域センター

(3489)9101

■上和泉おはなし会(時間)各回とも0歳からの部午後3時15

財政白書」中間発表会(日時)3月25日(土)午後2時～4時30分 記念講演(講師)大和田一敏さん(都留大学講師) ■狛ブー(青年教室)「おいしいコーヒーの飲み方セミナー」(日時)3月24日(金)・31日(金)午後7時～9時(講師)市内コーヒショップスタッフ

南部地域センター (3489)2150

■なんぶおはなし会(日時)3月17日(金)午後3時30分から(対象)幼児・小学校低学年(絵本)はらこあおむし(お話)だめだといわれてひっこむな(折り紙)ちようちよ

岩戸児童センター

(3489)5414

■タスケチャンピオンズクラブ(日時)3月22日(水)午後4時～5時(対象)小学生、中学生、高校生

子ども家庭支援センター (5438)6606

■たんぼパーク(乳幼児専用プレイルーム)に遊びにきませんか? (日時)月～土曜日 午前9時～午後6時(日曜日、祝日は休館)

駄倉保育園

(3489)5415

■園庭開放(日時)3月20日(月)午前9時40分～11時(雨天翌日(持ち物)着替えタオル等 親子とも汚れてよい服装で

子育て

和泉児童館

(3480)1441

■いずみ子育てくらぶ(4～7月)(対象年齢・曜日)0歳児隔週木曜日 1歳児隔週金曜日 2、3歳児隔週火曜日(各午前中40分程度)(活動費)300円 事前申込制 ■映画会「名探偵ホームズ」(日時)3月27日(月)午後3時30分から(対象)幼児(保護者同伴)・小学生